

基議厚産第139号  
令和2年9月2日

基山町議会  
議長 品川 義則 様

厚生産業常任委員会  
委員長 末次 明

### 所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を終了したので、その結果を報告します。

#### 記

#### 1 調査事項並びに調査期日

##### (1) 町道の現状について（令和2年7月27日）

- ①町道年の森・上川原線について
- ②町道三国・丸林線道路改良事業について
- ③町道の待避所設置について  
(現地視察及び概要説明)

#### 2 調査結果

##### ①町道年の森・上川原線について

本年6月議会にて町道として認定した年の森・上川原線は、既に20区画ほどに分譲された住宅用地を通る道路であり、他の道路への通り抜けはできないため、災害や交通事故がないように安全の確保が重要である。

秋光川と実松川の合流点に隣接する場所にあるため、災害の危険性について質したところ、豪雨時にも問題ないとのことであった。

なお、実松川の河川拡張工事は県事業であり、本年度末ごろから工事に入る予定である。

##### ②町道三国・丸林線道路改良事業について

道路改良事業が進行中の三国・丸林線は、今年4月より白坂久保田2号線がけやき台を通り抜け、基山パーキングエリア上り線付近に信号機が設置されている。高速道路下のボックス内は既に水路部分を覆うカルバート工事が完了しており、JR鹿児島本線、国道3号線までの曲がった既存道

路や河川、土地建物の買収予定地の確認を行った。

当日は午前9時30分頃の視察であったが、この地域は筑紫野市、小郡市とも隣接しており、ごみ処理施設であるクリーンヒル宝満にも近いため、町外の利用者も多くゴミ収集車を含め、通過する車も多かった。

当委員会としては、福岡県周辺市町と情報を交換し、共有するよう提案した。

なお、周辺道路工事の完成予定は令和6年春とのことであった。

### ③町道の待避所設置について

山間地町道3か所の待避所であるが、丸林地区は水路上の工事であり用地買収が不要のため今年度中に工事が可能である。宮浦地区の2か所は用地買収がまだであり、工事は来年度以降になるとのことであった。町道の中には、道幅が狭く住宅や石垣、田畑に隣接しているところがある。町道すべてを拡幅することは難しく、現状では対向車とのすれ違いを緩和するには、要所に待避所を設置するのが最善策と思われる。

町内には待避場所を設置すべき場所は数多くあるが、どのように優先順位をつけていくのかと質したところ、各地域からの要望や防災上の重要性を取り入れながら、今後の公共施設等総合管理計画の中で町道整備計画を作成する予定であるとの説明を受けた。

当委員会としては、町道整備に関わる町職員の指針となる町道整備計画を策定して公開することと、地域担当職員の活用や普段から町職員全員が町内の道路を通過する時、破損箇所をチェックし、報告するようなシステムを役場内に設けるよう提案した。